

活動報告および特別講演会 報告

令和 8 年 7 月 24 日（金）にホテル札幌ガーデンパレスにて、令和 8 年度水元技術士会活動報告および特別講演会を開催しましたので、その概要を報告します。開催は、遠隔地の方にも広く参加していただけるように Web 併用でのハイブリッド形式で実施し、道内各地、東海及び関東方面から約 20 名の方に参加いただきました。今年度は、来賓として日本技術士会副会長・北海道本部長の金秀俊様、室蘭工業大学同窓会長の高宮則夫様、室蘭工業大学同窓会札幌支部長の中村範仁様をお招きして総勢約 60 名での開催となりました。

■活動報告

熊倉幹事長から令和 7 年度活動報告及び令和 8 年度活動計画・予算の説明が行われました。

続いて今年度の役員改選の内容が発表され、水元技術士会の会長職は、長きにわたり会長を務めてくださった田中輝幸さんから、渋谷義仁さん（土木、昭和 62 年卒）へ引き継がれました。

■特別講演会（写真-1、2）

本公演は、室蘭工業大学 MONO づくりみらい共創機構の後援により、開催されたものです。初めに水元技術士会の田中前会長が開会挨拶をされました。講演は、室蘭工業大学 MONO づくりみらい共創機構准教授 城野理佳子氏から、「産学連携のススメ」～大学の実態と、産学連携の進め方について～と題して、行われました。

講演の概要は以下の通りです。

①MONO づくりみらい共創機構の概要

- ・室蘭工業大学の学長ビジョンおよび北海道ものづくりビジョン 2060 の実現に向け、教育・研究成果を社会と共創し、北海道の価値づくりに貢献。
- ・学長を機構長とし、3 つのオフィス、4 つのタスクフォース、9 つのプレタスクフォースで分野横断型の活動を展開。



写真-1 田中 前会長挨拶



写真-2 城野先生による特別講演会

②産学連携制度と活用方法

- ・技術的な相談や研究者探しは、まず同機構への相談が可能。
- ・学術指導制度、共同研究・プレ共同研究、寄附講座・奨学寄附金など様々な仕組みを準備。

③大学研究の現状と産学連携の課題

- ・企業は、研究成果の応用可能性、業界の具体的な困りごとなど、論文や学生の研究テーマにつながる点を示すことが有効。
- ・研究者は教育・事務作業の負担が大きく、産学連携が研究業績として十分評価されないことも課題。
- ・1 大学だけでなく、産学連携学会、経済団体、技術士会などが連携し、制度改善などを国へ働きかけることが必要。

今回の講演を聴講された方からは、以下のような感想・意見が聞かれました。

- ・産学連携制度の具体的な理解が深まった。

- 大学の研究環境や財政的課題への理解が深まった。
- 地域課題解決や地方創生における大学の役割への期待も高く、産学連携が企業・大学双方のみならず地域社会全体に利益をもたらす取組であるとの認識が得られた。
- 研究成果の社会実装を促進する制度・資金支援の充実や、地域産業を支える大学機能の維持・強化を望む。

■懇親会（写真-3 ～7）

新会長に就任した渋谷新会長からの挨拶、続いて金 日本技術士会副会長・北海道本部部長と室蘭工業大学同窓会の高宮会長から、ご挨拶をいただいた後、室蘭工業大学同窓会札幌支部の中村支部長の乾杯の発声により和やかな雰囲気懇親会がスタートいたしました。

最後は水元技術士会 谷村副会長の挨拶をもって閉会いたしました。

令和 9 年度の活動報告会及び特別講演会も以下の日程で開催が予定されています。

- 日時：令和 9 年 7 月 23 日(金)
- 場所：ホテル札幌ガーデンパレス

次年度も多くの皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。



写真-4 金 日本技術士会副会長・北海道本部部長挨拶



写真-5 高宮 同窓会長挨拶



写真-6 中村 同窓会札幌支部長の乾杯発声



写真-3 渋谷 新会長挨拶



写真-7 懇親会の状況